

## Ⅶ 新任時期の人材育成プログラムガイドライン

### I 地域保健従事者をめぐる現状と課題

#### 1. 保健活動の背景

- ① 急速な高齢化や少子化の進展、生活習慣病の増加等により、地域保健分野における疾病予防及び介護予防に関する保健活動の重要性の増大している。
- ② 児童虐待やひきこもりなど従来はあまり見られなかった新たな健康課題への対応が求められている。
- ③ 国民の健康意識が高まる中で、生活の質の向上を含む健康に関する国民のニーズは複雑化、多様化している。
- ④ 地方自治体においても行政改革や地方分権が推進される中で、住民ニーズ、地域特性を活かした効果的・効率的な健康政策の推進が求められている。
- ⑤ 保健・福祉の総合的な行政サービスが推進される中で、効率的な行政運営が求められている。

#### 2. 新任時期の地域保健従事者の現状と課題

- ① 新任時期における実践能力の低下、公衆衛生の視点の希薄化
- ② 職場への適応困難

### Ⅱ 基本的な考え方

#### 1. 新任時期の人材育成プログラムガイドラインの目的

- ① 地域保健に従事する1年目の地域保健従事者の能力に合わせながら必要な能力開発を着実に進めるための人材育成プログラムを自治体が作成すること
- ② 地域保健に従事する1年目の地域保健従事者が自身の到達目標を理解すること

#### 2. 活用時の留意事項

- ① 地域保健に従事して1年目の地域保健従事者の資質、可能な教育方法、指導体制などが各自治体で異なっているため、柔軟に対応することが必要

### Ⅲ 新任時期の地域保健従事者の教育目標

#### 1. 求められる能力

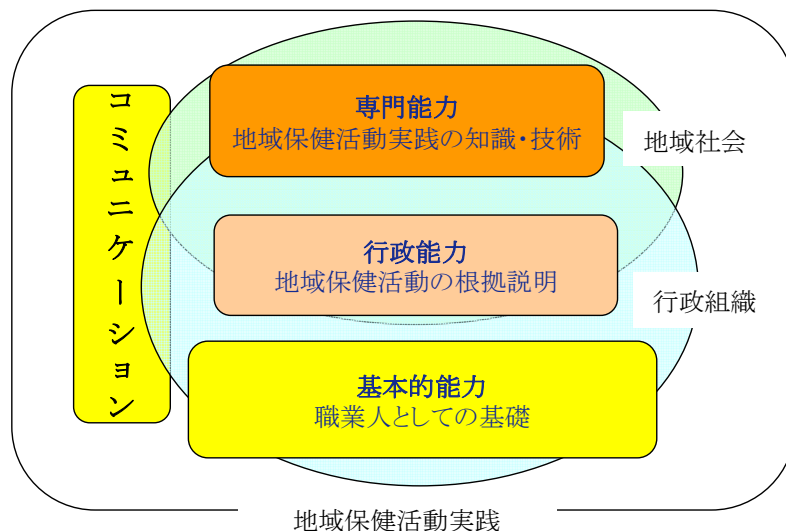


図1 地域保健活動実践能力の構造